事業報告

平成22年度 請負調査事業

日廃振センターでは、平成22年度は3件の事業を環境省より請け負い、1件の研究に(財)在宅医療助成勇美記念財団より助成を受けました。その事業概要は、以下のとおりです。

環境省 請負事業

1 ITを活用した循環型地域づくり基盤整備事業

電子マニフェスト普及率は、21年度には年間19%(3月期23%)と着実に伸びているものの、22年度の普及目標である50%に及ばないことなどから、22年度も引き続いて普及啓発事業を推進するとともに、システム機能強化を実施する。

普及啓発事業としては、①業界別事例発表会の開催 ②操作説明等のためのインストラクタの養成 ③ガイドブックの作成 を行う。また、システム機能強化では、①収集運搬業者の終了報告の簡素化のための調査 ②地方公共団体の照会機能の構築 ③統計処理機能の構築 ④システムの改善 を行う。

2 産業廃棄物排出処理状況等調査事業

環境省では、産業廃棄物処理行政の推進に必要な基礎資料を得るため、毎年、全国の産業廃棄物の排出処理状況及び都道府県等の産業廃棄物に係る行政組織等の状況を把握している。

本業務は、産業廃棄物の排出処理状況については平成20年度及び21年度における都道府県の実態調査結果等を利用し、それぞれの年度の排出処理状況を集計・解析(21年度は速報値)する。また、行政組織等調査は平成21年度又は平成22年4月1日現在の都道府県等の産業廃棄物行政の推進状況、産業廃棄物処理業許可件数・処理施設等について、全都道府県等からデータを入手し、集計・解析を行う。

3 新型インフルエンザ発生時の事業継続計画調査事業

環境省では、平成21年3月31日に「廃棄物処理における新型インフルエンザ対策ガイドライン」を策定し、事業継続計画の策定等の対策を講じることが示されていたところである。しかし、1年後に調査を行った結果、事業継続計画の策定が十分でなかったことから、事業継続の策定を改めて促すための雛形の作成に向けた調査を行う。

(財)在宅医療助成勇美記念財団(助成)

4 在宅医療廃棄物の適正処理に関する研究

財団法人在宅医療助成勇美記念財団の一般公募の在宅医療助成により、実施するものである。(平成21年度～22年度の2ヵ年事業)

本業務は、在宅医療の推進を見据え、在宅医療に伴って生じる廃棄物が、在宅医療の妨げとなることなく適正に処理されることを目指して、在宅医療廃棄物の処理方策の確立を図るものである。

具体的には、在宅医療廃棄物の円滑な処理のためには、郡市区医師会、医療機関等の医療関係者と市町村の廃棄物部局等の関係者による連携が不可欠であることから、連携体制の構築の円滑化及び連携体制構築に至るまでの具体的な手順の検討、その他在宅医療廃棄物の処理に関する諸問題への解決策等について、アンケート調査及びヒアリング調査を実施し、集計・解析を行う。

講習会

インターネット受講申込みの運用開始

この度、受講申込み手続きの簡素化、迅速化、利便性向上を図るため、これまでのFAXや書面による受講申込みに替え、1月以降に開催する「PCB廃棄物の収集運搬業作業従事者講習会」（PCB講習会）を対象に、インターネットを活用して簡易に受講申込みできるサービスの運用を開始しました。

インターネット受講申込みの主なサービス機能は、以下のとおりです。

ホームページ上で空席情報の確認

受講申込みの空席状況を○、△、×の三段階で確認できます。

受講受付をメールで確認

受講受付結果（仮受付または本受付）は、瞬時に電子メールで、受講申込者が指定するメールアドレスに送信され、受講申込みの確認ができます。申込書が受付機関に届いたか、申込みが受付されたかを心配する必要がありません。

団体申込みが可能

複数の受講者の申込みが、まとめてできます。また、受講料の一括支払いもできます。

受講料の支払い方法の選択

受講料の支払いは、次の3つの方法から選択できます。

①クレジット決済（クレジットカードよる1回払い）
②コンビニ決済
③銀行口座支払い

受講状況の照会

受講申込後に、受講受付状況、受講料支払い状況等の照会がインターネット上でできます。

イベント報告

第9回産業廃棄物と環境を考える全国大会

「循環型社会と改正廃棄物処理法への期待」をテーマに

平成22年11月17日（水）富山市の富山国際会議場に於いて、（社）全国産業廃棄物連合会、（財）産業廃棄物処理事業振興財団並びに（財）日本産業廃棄物処理振興センターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催いたしました。

今年で本大会は第9回目を迎え、多くの廃棄物関係者、556名の参加となりました。

大会では、環境大臣表彰式典の後、上智大学北村喜宣教授の基調講演「改正廃棄物処理法の目指すもの−産業廃棄物処理ビジネスの振興と優良化の促進−」がなされ、続いて、行政担当者、事業者、学識経験者のパネリストによる討論会が「循環型社会と改正廃棄物処理法への期待」をテーマに行われました。

また、大会後の交流会にて富山の「越中おわら風の盆」も催され、盛会のうちに閉会いたしました。

なお、次回の全国大会は平成23年11月4日に京都府で開催を予定しています。



写真 開会挨拶



写真 交流会・越中おわら風の盆